

内閣総理大臣 殿

経済産業大臣 殿

すべての原発の即時停止と 再生可能エネルギーへの政策転換を求めます

【請願主旨】

福島第一原発事故は未だ事態収束の兆しが見えてきません。放射能汚染は大気に海に土壌に広がり、国民のいのちを脅かし、暮らしと産業に深刻な打撃を与えています。被害は海外に広がる恐れもあり、「レベル7」という最悪の事故に諸外国も日本に厳しい批判の目を向けています。

国は原発の「安全神話」をふりまき、ひたすら利潤追求に突き進む電力各社と結び、次々と原発を建設してきました。その結果、地震・津波多発国に54基もの原発が立ち並ぶ危機的な状況です。原発の存在自体の危険に加えて、最終処理方法のない放射性廃棄物が日々蓄積されていく危険と恐怖が国民に重くのしかかっています。

また、国際条約で定められている安全最優先の役割と権限を持つ独立した審査・規制機関を設置しないまま、歴代政府が原子力政策を推進してきた結果が、今日の悲惨な事態を招きました。国はただちに事故の全容と嘘のないデータを公表し、全国の科学者等の知見を総結集して収束にあたるべきです。

私たちは、一刻も早く国民のいのちと暮らし、地球環境を守るために、国がすべての原発を廃止し、エネルギー政策を転換することを求め、以下の項目を請願致します。

【請願項目】

- 1、 すべての原発をただちに停止し、廃炉にすること。
- 2、 国と東京電力は福島第一原発事故収束に全力を挙げ、すべての被害者への補償を完全に行うこと。
- 3、 国は原発推進の政策を改め、再生可能なエネルギーへの政策転換をすること。

名 前	住 所

<この署名は請願目的以外には使いません>

取り扱い団体：婦人民主クラブ

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-2-8 第12宮庭ビル303

電話03(3478)2317

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

すべての原発の即時停止と 再生可能エネルギーへの政策転換を求めます

【請願主旨】

福島第一原発事故は未だ事態収束の兆しが見えてきません。放射能汚染は大気に海に土壤に広がり、国民のいのち命を脅かし、暮らしと産業に深刻な打撃を与えています。被害は海外に広がる恐れもあり、「レベル7」という最悪の事故に諸外国も日本に厳しい批判の目を向けています。

国は原発の「安全神話」をふりまき、ひたすら利潤追求に突き進む電力各社と結び、次々と原発を建設してきました。その結果、地震・津波多発国に54基もの原発が立ち並ぶ危機的な状況です。原発の存在自体の危険に加えて、最終処理方法のない放射性廃棄物が日々蓄積されていく危険と恐怖が国民に重くのしかかっています。

また、国際条約で定められている安全最優先の役割と権限を持つ独立した審査・規制機関を設置しないまま、歴代政府が原子力政策を推進してきた結果が、今日の悲惨な事態を招きました。国はただちに事故の全容と嘘のないデータを公表し、全国の科学者等の知見を総集して収束にあたるべきです。

私たちは、一刻も早く国民のいのちと暮らし、地球環境を守るために、国がすべての原発を廃止し、エネルギー政策を転換することを求め、以下の項目を請願致します。

【請願項目】

- 1、 すべての原発をただちに停止し、廃炉にすること。
- 2、 国と東京電力は福島第一原発事故収束に全力を挙げ、すべての被害者への補償を完全に行うこと。
- 3、 国は原発推進の政策を改め、再生可能なエネルギーへの政策転換をすること。

名 前	住 所

<この署名は請願目的以外には使いません>

取り扱い団体：婦人民主クラブ

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-2-8 第12宮庭ビル303

電話03(3478)2317